

あけましておめでとうございませう!



まいにちかいえん
～毎日開園 だれでも気軽に来られる動物園～
ずー

2014年1月号
No. 21

ZOOっといっしょ

今月のニュース

◎カンガルーの赤ちゃんが顔を出しています!

11月11日に初めて顔を出したマキ♀(11)の赤ちゃんがその後順調に育ち、最近よく顔を見せてくれるようになりました。朝と夕方は特に袋から顔を出していることが多いので見られるチャンスです

◎こどもどうぶつコーナー改修工事開始

1月から工事のため、こどもどうぶつコーナーの展示をお休みさせていただきます。完成したらまた遊びに来てくださいね!

◎にぎやかなヤギ舎**

群馬サファリパークからやってきたヤギ(ピグミーゴート種)の展示をはじめました。元気よくかけ回っている様子を見て寒さを吹き飛ばそう!

◎サル山のリニューアル★

サル達がもっと快適に過ごすことが出来るように、サル山の一部を改修工事しました。日陰ができる場所や、弱い個体が逃げられる穴を作り、遊具を設置しました。イキイキしたサル達の表情をチェックしてみてください!



60周年イベント情報

どうぶつお話の会 ～バードショー～

平成26年1月19日(日) 13:00～桐生が岡動物園南門広場にて

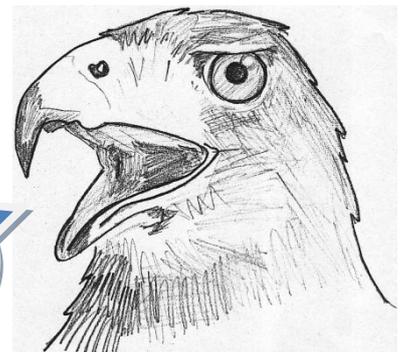
☆那須どうぶつ王国スタッフによるバードショーを開催します。

はくりよくまんてん
迫力満点のタカのフライトや、オウムなどのショーやトークを

お楽しみいただけます。観覧料は無料です。

たくさんの方のご来園をお待ちしています。

カッコいい
フライトを
見に来こね!!



今年の干支は午!! ちょっと馬のお話



馬と人との歴史はとても長く、約5千年前に馬の家畜化が始まってから現在まで続いています。(家畜化される前は食糧として狩りを行っていました。)

現在では250種類以上の品種改良が行なわれ、1tを超えるものから70kgほどしかないものまで様々です。日本にも(北海道和種馬(どさんこ)・木曾馬・野間馬・対州馬・御崎馬・トカラ馬・宮古馬・与那国馬)8種の在来馬がいます。

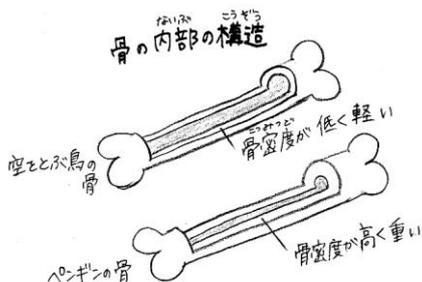
また、野生の馬(シマウマ・ノロバを除く)はモウコノウマと言う1種のみが野生で暮らしているだけです。モウコノウマも野生では一度絶滅をしましたが、動物園で飼育されていた個体を増やし野生に戻しました。こんなに人との歴史が長く、今年の干支でもあるお馬さん達に是非会いにきてください!

ペンギンの骨

ペンギンは空を飛ぶことができませんが鳥の仲間です。体の大きさにもよりますが、ペンギンは他の鳥に比べて体重が重いのです。体重が重い理由はいくつかありますが、その一つが骨です。ペンギンの骨は他の鳥たちの骨と違って密度が高くできているのです。ではどうして、密度が高くできているのでしょうか?

答えはペンギンの生活の中にあります。海に潜って餌をとる生活をしているペンギンは体が軽いと潜る際、たくさんのエネルギーが必要になってしまいます。また、骨の密度が低いと抵抗が大きくなる水中では骨が折れてしまいます。なので、ペンギンは骨の密度を高くし、体を重くすることで潜水生活に適した鳥になったのです。

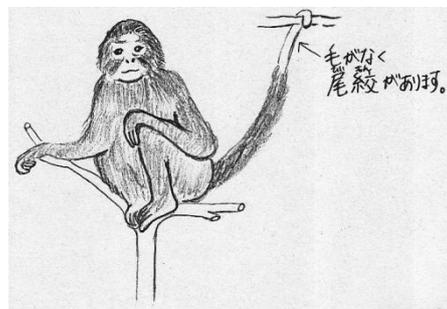
ちなみに、空を飛ぶ鳥は骨の内部を中空にして密度を低くし体を軽くすることで飛びやすくしています。



今回も3人の飼育員さんたちに、担当している動物たちについて話を聞きました♪

クモザルのしっぽのひみつ☆

クモザルは南アメリカの熱帯雨林に生息しており、果実や昆虫・鳥の卵などを食べて生活しているサルです。樹上生活に適応するために手足が長くなり、さらに5本目の手足として



しっぽを発達させ、器用に使っています。動物園でも運搬を移動する時にしっぽで必ずどこかにつかまっています。時にはしっぽだけでぶら下がって全体重を支えていることもあります。一体しっぽにはどんなヒミツがあるのでしょうか? 実はしっぽの先の内側には毛がなく指紋のような「尾紋」があります。そのため器用に物をつかむことができるのです。皆さんもクモザルを観察するときは是非しっぽに注目してみてくださいね。